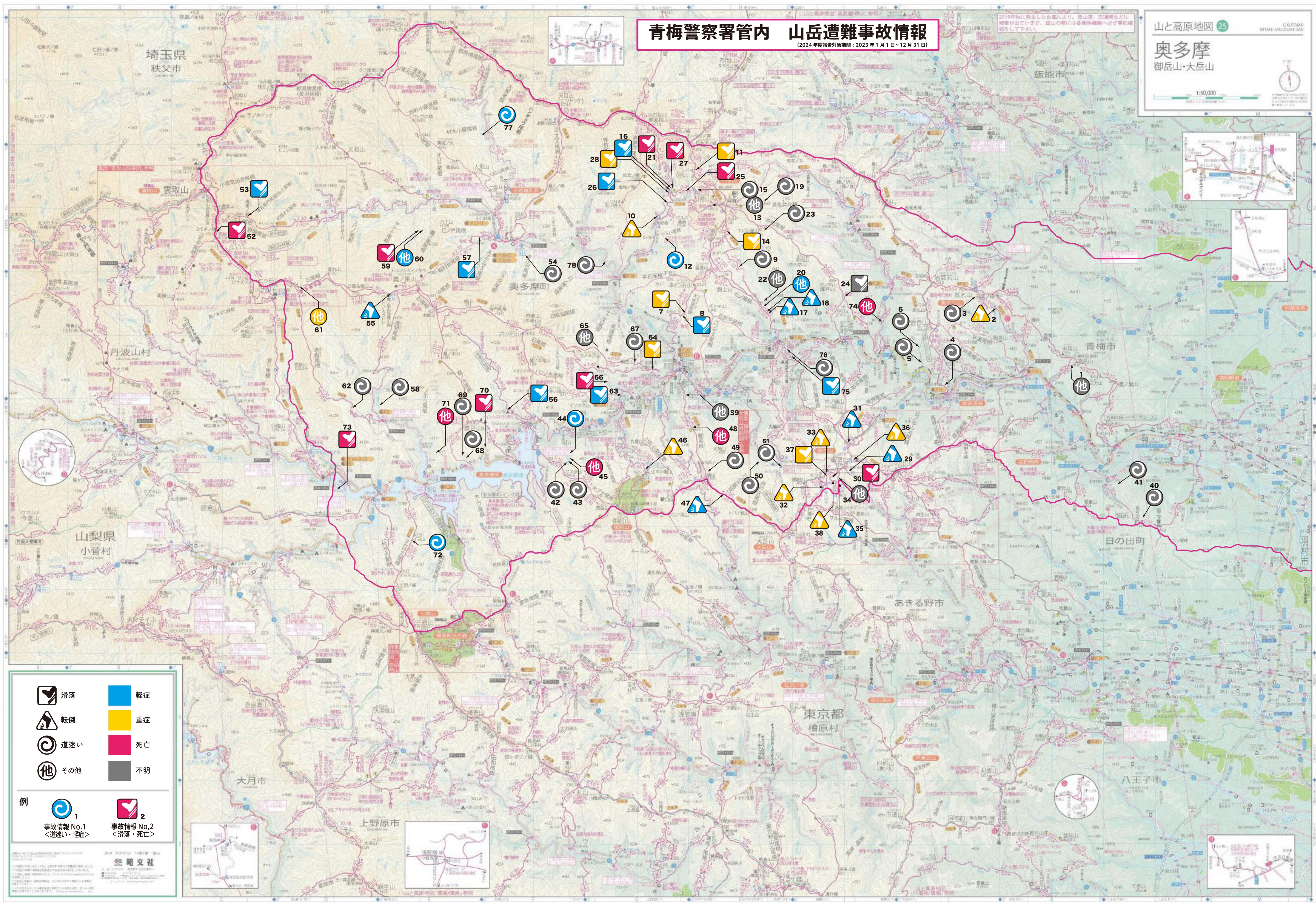
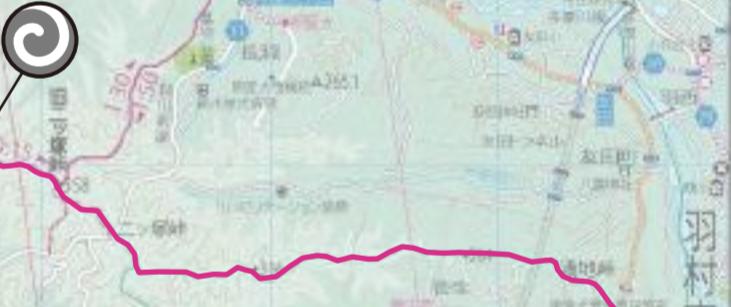


青梅警察署管内 山岳遭難事故情報

(2024年度報告対象期間: 2023年1月1日~12月31日)

山と高原地図 25

OKUTAMA
MITAKE-YANODE-SAN





奥多摩トレイル 安全データマップ



作成
【奥多摩山岳遭難対策連絡会】
東京都環境局東京都レジャーシャー
東京都奥多摩ビジターセンター
奥多摩自然保護センター
奥多摩消防署山岳救助隊
環境省奥多摩自然保護官事務所
奥多摩町観光室内所
公益社団法人東京都山岳連盟(制作)



スポーツ振興くじ助成事業
この広報はスポーツ振興くじ助成を受けて作成しています

01 安全登山の基本と情報

事故発生を防ぐための事前準備
事故が起きた場合への対応

事故が起きたそのために
事前に確認しておべき項目と
もしも事故が起きてしまった時の対応を説明します

1. 地形図と磁石の利用

行動の基本は事前に予定コースの情報を確認、行動ルートを地図上で確認すること。普段の街歩きから習慣づけることで山での行動に役立ちます



スマホ地図アプリ



「シオグラフィカ」

2. 安全のための事前チェックと情報共有

- 計画内容を確認
- = 計画に無理がないか? (体力・経験・メンバー)
- 計画書の共有と確認
- = 計画書の提出を済ませたか? (家族などにも共有したか?)
- 天気予報の確認
- = 該当地域もしくは山専門の天気予報を確認
- コース・季節にあった装備、食料、水の用意
- = 急な天候変化に対応できる装備、非常食、水分補給ボトルの事前確認
- 防具/風、雨、暑さ、寒さ
- = 天候悪化と非常に早い備え
- 地図、磁石、携帯電話+予備バッテリー
- = 現在地の確認、事故発生時に通報・情報共有ができるか?
- 山岳遭難事故の発生状況、リスクを把握する

3. 救助要請通報の事前準備

- 緊急時に位置情報をアプリ等で確認
→ 救助要請 #110(全般)
#119(怪我・病気の場合)



02 山岳遭難事故防止の基本

奥多摩三大事故パターン・季節ごとの事故防止策

事故防止の基本3原則

計画：体力と経験にあつたコース選択、事故発生状況確認

チェック：装備、食料、体調、天候

リスク管理：計画書を作成し共有

パターン1.道迷い

奥多摩の山は登山道以外の仕事道(巡回路、林業、ワサビ田)やけもの道などがあり、特に下りで登山道を外れて道迷いややすく、さらに足元の悪い斜面で転落滑落事故が起きていることに注意が必要です。



パターン2.転倒／パターン3.滑落

奥多摩は急な登下傾斜が多く、急斜面での転倒は長い距離の滑落となり、時には転落事故へつながる危険があることを意識してください。



その他、季節毎の事故対策

暑い時期 →熱中症・脱水予防の水分補給、日照対策、水分補給

寒い時期 →防寒着、温かい飲み物の用意

季節と足元への注意 →夏秋のハチ対策=香水、黄黒の服はNG! 秋の落ち葉、冬は雪、凍結



[配布元]

04 安全登山の準備とチェック

奥多摩三大事故パターン・季節ごとの事故防止策

計画

①コース内容、所要時間、難易度危険箇所確認

[推奨]

(1)日没2時間前、バスなど利用可能な下山時刻から出発時間を逆算

(2)退却判断時刻・コース想定

check point! 技術・体力に合ったコース選択か?

②メンバーハ体力、技術との適合

(1)行動時間、登下傾斜の標高差が体力に合っているか?

(2)技術、経験にあつたコースかの判断、特に雪上行動の場合など

[必携]

地図・磁石=スマホアプリも利用可能だが予備電源は必須!

防具 / 雨・風・季節に合わせた着装・寒さ対策、ヘッドライト

・ヘッドライトなど装備を用意する

[体調]

体調・睡眠状況。疲れがないか?

[天気予報]

雨・風は行動を難しくし、夏の高温、冬の低温は体調にも悪影響

[山の状態] →奥多摩など各ビターセンターにお問合せください

大雨や降雪の影響、紅葉後の落ち葉は滑りやすい

装備・食料プラン

※リスト参照

身体・フィールドコンディション

計画書作りと届出

###